


恒例？秋の富士周辺の山 紅葉台～足和田山

実施日 2014年11月8日(土)
 天候 晴れ・薄曇り
 リーダー 涌井 良明
 参加者 齋恵美子、横山義彦、伊東勝昭、涌井良明、安田三恵子、小村井好江、荻野智恵子、石附智江、渋谷京子、伊藤久雄、関塚七海、山口みさ、山口誠志、松丸恵美子、川上忠江、平川清秋、渡邊悦子、G(山崎裕美子) 計18名
 費用 列車3,200円(高尾起算)、720円 計3,920円
 タイム 富士山(9:07~30)紅葉台入口(10:05~15)紅葉台(10:55~11:10)三湖台(11:20~30)足和田山(12:30~13:30)1030m付近(14:10~15)一本木BS(14:25~30解散)・河口湖駅(16:17~27)

この時期は毎年富士周辺の山を計画しているが、今年は夏～秋は宿泊でそれなりに歩く山行が多かったため、遠慮していた方にも参加してもらえようように、ライトハイクとしてのコース計画にした。

久しぶりの方も含め18名の方々に参加してもらえたのは有難かった。

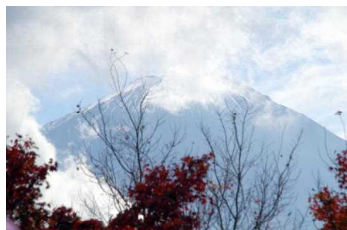
今後も全員が気軽に参加できるように計画を増やすことを考えていきたい。

紅葉台入口で我々18人が降り、ガラガラとなったバスを見送ってから、紅葉台に向かって歩き始める。

行楽期の車道なので行き交う車も多いが、この辺りは丁度良い色付きに歓声も上げ乍ら高度も徐々に上げていく。



直ぐに東海自然歩道には入らずに歩き、紅葉台手前から車道と別れて急な階段道を登り紅葉台の売店・展望台裏手に登り着く。駐車場側から雲間に富士も顔を見せてくれた。十分に休憩してから次の三湖台に向かう。



ここからは傾斜も緩くなり東海自然歩道となっている。尾根道は広く、木々の落葉も進んで明るくなった道を

進む。緩い登りが終わると、広く開けた三湖台である。立派な展望台もあり、正面に西湖を挟んで鬼ヶ岳・十二ヶ岳・毛無山の御坂の山々が大きい。富士を囲む周辺の山の奥に南アのシルエットも望めた。思い思いに展望や写真撮りを楽しんでから、足和田山(五湖台)に向かう。



道は広く歩き易い、所々にはっとさせるような見事な朱色が現われて足を止めさせられる。時々薄日も射して晩秋の様相

を見せ始めた道を歩く。二つ程ピークの登降があるが時間の余裕もあるので、紅葉を楽しみながらゆっくりと歩く。足和田山手前の登りでは付近のカラマツは既に葉も落して樹間から毛無山も望めるが、落葉の頃に訪ねれば小金の雨が美しかっただろう。


足和田山(五湖台)は展望櫓もある小広い尾根上といった感じだ。先客の我々と

同じくらいの人数のパーティが賑やかだ。我々ものんびりとランチタイムにした。山頂で1時間程も過



して後は下山するのみとなった。

足和田山を通過するように尾根を進み、更に東に続く稜線から別れて南へ下る尾根に入る。標高が下がるにつれ再び紅葉が濃くなっていく。結構な傾斜の道を九十九折で下って行く。逆コースではきつい登りが続くことになり、ライトハイクとはならなかったかも。下りの急傾斜は登山道が終わる舗装路にでるまで続いた。

国道の一本木BSに出るが、2時間弱待つこともあり、ひとまず此処で解散とした。BS待機と取敢えず駅方面へと歩くグループとなり、歩き班組は結局河口湖駅まで歩いてしまった。待機班メンバーはそれぞれ呼んで帰路となった。

久しぶりに参加された方々を始め、皆さま

紅葉の山を楽しみただけででしょうか？次回もまた一緒に山を楽しみましょう。

トップを務めてくれたSさん有難うございました。

(記&写真・涌井 良明)